

氏 名	川 島 智 生
学位(専攻分野)	博 士 (学 術)
学 位 記 番 号	博 甲 第 180 号
学位授与の日付	平成 11 年 3 月 25 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
研 究 科・専 攻	工芸科学研究科 機能科学専攻
学 位 論 文 題 目	近代日本における小学校建築の研究
審 査 委 員	(主査) 教 授 古 山 正 雄 教 授 河 邊 聡 教 授 西村征一郎

論 文 内 容 の 要 旨

本論文は、明治初期から昭和戦前期にいたる期間に建てられた小学校建築を調査研究し、その成立過程、時代ごとの特性、建築的変遷を明らかにすることを目的としている。

小学校には、明治前期の擬洋風、大正後期から昭和初期にかけての鉄筋コンクリート造や標準設計など、建築の近代化を進める上での重要な指標が、他の建築種別に先駆けて早い時期から見られる。しかも小学校は一定の地域単位で全国に設置されるため、近代化の技法の普及には大切な役割を果たした建築であり、日本の近代建築の研究には欠くことのできないものである。また興味深いのは、明治期の擬洋風校舎は大阪において、大正期の鉄筋コンクリート校舎は神戸において、それぞれ全国のさきがけとなる先進事例を創り出しており、関西は東京以上に小学校建築の先進地域であった。

本論文は 4 部から構成されている。第 1 部では、全国に先駆けて誕生した京都の木造校舎には遷都後の公家屋敷や社寺の廃材利用が見られ、和風デザインの混交の問題を取り上げ、次いで大阪では藤村紫郎による洋風化政策と擬洋風小学校の展開を実証的に考察している。第 2 部では、明治後期の木造校舎の定型化を取り上げ、日照の確保といった環境への視点や学級数の制限といった制度との関連を論じている。さらに第 3 部では、日本で最初に鉄筋コンクリート化に取り組んだ神戸市を事例に、講堂を最上階に配置するといった特徴を論じている。さらには、神戸市営繕課の技術者陣容の変化と建築意匠の変遷の関係、学区制度が施行されていた大阪市では、多くの民間建築家が登用されて多様な展開を見せる小学校建築の実態を丁寧に解明している。昭和初期には、学区制度が廃止され、大阪市建築課によって規格化や鉄筋コンクリート造が普及していく実態を営繕組織に焦点を当てて論考しており、数多くの埋もれた建築家を発掘している。

第 4 部では、1934 年の室戸台風の直後に行われた復興事業において、鉄筋コンクリート校舎における標準設計の成立と意匠面にも標準化が及んでいく過程を、伊藤正文の活動を中心に実証的に考察している。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文では、小学校建築の成立と学区制度や教育行政といった社会的側面、鉄筋コンクリート造と標準化といった建築の技術的側面、建築家の意匠の特性といった造形的側面、さらには各都市ごとの建築の特性など多様な方面から小学校建築を実証的に論じている。その実証的姿勢は徹底しており、現存する小学校建築の現地調査にとどまらず、設計者の遺族に対する聞き取り調査を行い、残存する図面や写真を収集整理し、さらに設計者の足跡を尋ねて中国やヨーロッパへの調査などをおこなっている。

その過程で、都市行政の営繕組織の建築技術者である伊藤正文や清水英二、民間建築では増田清や古塚

正治など、これまであまり知られることのなかった多くの建築家の活動を明らかにした。

本研究は必ずしも理論的な研究ではないが、申請者が長年にわたって蓄積してきた近代建築全般にわたる成果が本論文にも活かされている。本論文作成の基礎となった審査付き論文は、以下の8編である。

- ・川島智生「大正期大阪市における鉄筋コンクリート造小学校の成立と学区制度との関連について」、日本建築学会計画系論文報告集、第486号、pp.211-220、1996年8月
- ・川島智生「大正期大阪市の鉄筋コンクリート造小学校の成立と民間建築家との関連について」、日本建築学会計画系論文報告集、第489号、pp.213-222、1996年11月
- ・川島智生「明治後期の大阪市における小学校建築の成立と特徴」、日本建築学会計画系論文報告集、第495号、pp.211-220、1997年5月
- ・川島智生「大正・昭和戦前期の京都市における鉄筋コンクリート造小学校建築の成立とその特徴について」、日本建築学会計画系論文報告集、第508号、pp.209-216、1998年6月
- ・川島智生「昭和戦前期の大阪市における小学校建築の研究－臨時校舎建設所の組織とその建築について－」、建築史学、第31号、pp.113-152、1998年9月
- ・川島智生「大正・昭和戦前期の神戸市における鉄筋コンクリート造小学校建築の成立とその特徴について」、日本建築学会計画系論文報告集、第514号、pp.207-215、1998年12月
- ・川島智生「大正・昭和戦前期の大都市近郊における鉄筋コンクリート造小学校建築と民間建築家との関連－兵庫県旧兵庫郡の町村を事例に－」、日本建築学会計画系論文報告集、第515号、pp.235-242、1999年1月
- ・川島智生「昭和戦前期の京都市における鉄筋コンクリート造小学校建築の成立とその特徴について－昭和9年から昭和14年までの間－」、日本建築学会計画系論文報告集、第517号、pp.283-289、1999年3月（印刷中）